

授業科目 小児看護学実習

【担当教員名】 松井由美子他	対象学年	3～4	対象学科	看護
	開講時期	後期・前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	90

【<概要>又は<一般目標：G I O>】
 子どもとその家族環境や個性を理解し、子どもの個々の発達段階の特徴や健康レベルに応じた小児看護学の基礎的実践に必要な知識・技術・態度を修得する。また子どもや家族の権利を擁護し、倫理的に配慮をした援助や小児医療福祉の連携について考察する。

- 【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】
1. 子どもの成長発達や健康レベルを理解し、個々に応じた援助的な人間関係を形成することができる。
 2. 子どもの成長発達や健康維持・増進および発達障害に応じた環境について考え、安全な生活や環境を調整することができる。
 3. 子どもの成長発達や健康上の看護問題を抽出し、看護計画の一部を立案できる。
 4. 看護計画に基づき、子どもや家族の状態に応じ、権利を擁護した援助が実施できる。
 5. 小児看護学における遊びや家族の重要性を理解し、援助の中でさまざまな工夫ができる。
 6. 小児医療福祉の連携のあり方や看護職者の役割について自分の考えを持つことができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	①8～9名のグループで、小児看護学に関連した施設にて一人2週間の実習を行う。 ②オリエンテーションや自己学習を含めた学内実習2日間、保育園2日間、療育施設2日間、病棟及び外来4日間で計10日間の臨地実習を行う。 ③日々のカンファレンスやケースカンファレンスを通して、直面した問題について話し合い、看護を共有しながら実習の意味づけを行う。	1～6	実習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	小児看護実習ガイド	筒井真優美監修	照林社	2940円
	小児保健実習	兼松百合子他	同文書院	2310円
その他の資料				
【評価方法】 実習内容(50%)、実習記録と課題レポート(30%)、 出欠席(20%)で総合して判断する。	【履修上の留意点】			

看護学科専門